

摘果の仕上げ

摘果作業の遅れているリンゴ園地では、早く終わるように急ぐ必要があります。摘果が遅れると、満開5週目ごろから、種子中のジベレリン含量が多くなり、それが枝へ流入するため、花芽分化が抑制され、花芽の着生を悪くして、隔年結果を誘発する原因となります。

さらに、過剰着果は果実の肥大や品質を極端に悪くするので、仕上げ摘果終了後も見直しを行い、樹勢に見合った着果量にします。

梅雨期は薬剤散布が計画通りできないことが多く、気象的にも病気が発生しやすくなるので、観察を吟味して適期防除と散布間隔を守ってください。

また、徒長枝や不要な枝を除去し日当たりと風通しをよくして、散布ムラを作らないようにし、下草も早めに刈り取るようにしましょう。